

2026 年度 2 年次編入学試験 臨床心理学専攻 模範解答

解答のポイント

- ・オーバードーズを単なる問題行動ではなく、つらさや生きづらさへの対処行動として理解する。
- ・背景には孤立感、トラウマ体験、感情表現の困難さ、人間関係の問題などがある可能性に触れる。
- ・本人を非難するのではなく、安心して相談できる関係づくりの重要性を述べる。
- ・教育・医療・司法・福祉の各領域で、多職種連携や関係機関との協力が必要であることに触れる。
- ・教育領域では予防教育や相談体制の充実、医療領域では治療と心理支援の連携について述べる。
- ・司法領域では再発防止や社会復帰支援、福祉領域では居場所づくりや継続的支援の意義に触れる。
- ・当事者の尊厳を尊重しながら長期的な回復を支援する視点を示す。

解答作成にあたって

本文の内容を踏まえ、オーバードーズの背景や当事者の置かれた状況について理解を示したうえで、心理士として教育・医療・司法・福祉の各領域においてどのような支援や対応が考えられるかを論述することが求められます。